

令和3年度 第2回横浜市精神保健福祉審議会

日時	令和4年3月24日(木)14時～16時
開催場所	ラジオ日本クリエイティブ会議室 A 会議室
出席者	天貝委員、飯島委員、池田委員、石渡委員、大友委員、大貫委員、金子委員、川越委員、佐伯委員、豊田委員、長尾委員、西井委員、長谷川委員、樋口委員、菱本委員、三村委員、宮川委員、山口会長
欠席者	石井委員、伊東委員
開催形態	公開(傍聴人0人)
議題	1 報告 (1) 横浜市依存症対策地域支援計画の策定について (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和3年度の取組状況について (3) 令和4年度予算について
決定事項	報告について了承された。
事務局 健康福祉局長	1. 開会 定足数報告、注意事項について 開会の挨拶
山口会長	報告事項1、横浜市依存症対策地域支援計画の策定について事務局から説明をお願いします。
事務局	(1) 横浜市依存症対策地域支援計画の策定について 横浜市依存症対策地域支援計画について説明
山口会長	ただいまの報告事項1の説明について何かご意見ご質問がおりになる方発言をお願いします。
宮川委員	浜家連の宮川です。大変立派な計画ができたと思います。私は、精神部会というので依存症の方たちと一緒に年2回話し合いを持っているんですけど、浜家連と同じ事務所を何年か前から使っておられて、それまではなにも対策がないと非常にぼやいていました。こういう立派な依存症の対策の計画ができて、とても良かったと思います。その依存症の家族会たちが大変熱心に啓発ということで講演会をやっているんですけど、やるたびに皆さん高齢化して大変だっていうし、やればやるほど予算がついていないので大変だとおっしゃっていたんです。ですので、そういうところに予算をちゃんとつけてほしいと思うんですけど、その辺はどうなんでしょうか。
事務局	団体の皆様、本当に普段から積極的に活動をしていただいて、また本日ご説明した依存症対策検討部会にもご参加いただいて、貴重なご意見をたくさんいただいております。講演会などの資金に関してですが、令和元年度の後半から、民間支援団体の方へ補助金を開始しております。普及啓発あるいは相談事業などの活動を補助する補助金として毎年やっております。そちらを段々と活用してくださる団体も増えていまして、今後も、より使っていただけるように、使いやすいように啓発などを進めていきたいと思っております。
山口会長	お金のことは別として宮川委員からお褒めの言葉をいただきましたので、引き続きよろしく願いいたします。 続きまして報告事項2、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和3年度の取組状況についてお願いします。
事務局	(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和3年度の取組状況について 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和3年度の取組状況について説明
山口会長	ただいまの事務局からの説明について、委員の先生方ご意見ご質問ございますでしょうか。

石渡委員	<p>地域移行の定着に向けて色々な検討がされているというのがよく分かりました。例えば東京都は退院の促進ということですでにピアサポーターの方が継続的に活動していらっしゃると思っています。あと私が関わっている自治体では、入院患者さんが多い病院に担当者が出向き、ドクターやナースと直接協議する中で退院に向けて動き出すといった積極的な活動を行い、成果を上げているというお話も聞きます。横浜市としてはそういうすでに動き出している取り組みがあるのかを教えていただきたいと思います。先ほどの説明資料の裏面のところでは取組の発表があったということが紹介されていますが、それはどんな取組だったのかということをご教示いただければと思います。</p>
事務局	<p>今ご紹介いただきました、東京都でされているような医療機関からの退院についてもピアサポートの力を活用してというようなご意見、部会でも出していただきまして、それをもっと深めるためにはということで今後も議論を続けていこうと考えているところです。また本市の退院サポート事業では、実際に病院に出向いて退院に向けたサポートするという事業を行っています。それらの取組とうまくかみ合ったりするといったことも考えています。具体的になったらまた報告を審議会でもしていきたいと思いますが、医療機関もそうですし地域での生活を支えるという点でもピアサポートの力が有効ではないかと伺っています。また市としての取組でなくても、市の中でいろんな形でピアサポートをしてくださっていることはこちらの耳にも入っています。電話で相談を聞くという活動をされている方もいらっしゃると思っていますので、そういったところ含めていろんな形があるということをご認識しながら、取組を続けてまいりたいと思っています。</p> <p>今年度の説明会につきまして、各区の取組の発表からということだと思いますが、2つの区に発表してもらいました。結構盛りだくさんな内容で、できれば本当は全部ご紹介をしたいところですが、具体的に挙げますと、地域の精神障害の方を支えるということで取組をいただいています。例えばただ精神の方だけということで精神の関係者だけが寄って集まってということではなく、区役所の中でも福祉保健課などの地域の福祉の人材を考えると担当の担当者にも声をかけながら、少し広い目線で協働しているというご紹介や、あとは高齢者の支援部門と情報共有や検討しながら進めています。発表を聞いていた区でもこういうことはできるかなとか、刺激を受けていただけたかと思っています。</p>
石渡委員	<p>資料2の内容ですと、検討していますというところまでです。区の自立支援協議会のレベルですと具体的にこんな成果があがって、地域に移行された方がこんな生活していますといった紹介もされているのかなと思います。そういう具体例が見えるような情報提供をしていただけたらありがたいと思います。お願いいたします。</p>
事務局	<p>ご報告にあたって留意して参りたいと思います。よろしくご教示いたします。</p>
事務局	<p>横浜市は元々市の単独事業ということで退院サポート事業を委員ご存じの通り実施をしております。その個別の支援、それから病院との協働活動については毎年第1回審議会の場で、サポート事業の方の実際に退院された方の人数ですとか、何回ぐらいどんなことをやってきたかというご報告はさせていただいておりますので、今年度の分がまとまりましたら、新年度のときに具体的な退院サポートという意味でのご報告はさせていただきたいと思っています。実際に今こちらの地域移行地域定着部会でやっているにも包括の仕組みについてはもう退院サポート事業という退院促進だけではないまちづくり全体をどのように各区で行っていくのかということに今力点を置いていろいろご報告をいただいたり議論したりしているところでございます。</p>
石渡委員	<p>本当に「にも包括」って、そういうまちづくりのことだと思います。そういう事例が紹介されるとまた新たな課題も見えてくるので、今後のご報告でお願いしたいと思います。</p>
宮川委員	<p>ピアサポートとピアスタッフのことについて引き続き議論を行っていますということですが、ピアの方を雇って雇用契約を結ぶ、それから雇用契約を結ばないでやるピアサポーターと書いてありますが、もう方向としては、こういうピアの人たちを養成することに力を入れていくということでしょう</p>

事務局	<p>か。それに対してきちんと予算をつけるということでしょうか。</p> <p>今、検討中としているところなので、雇用契約を結ぶ方法、結ばない方法いずれも事務局として大事だと思っております。人材育成であったり、もし雇用契約を結んだ場合、どうやって働き続けていくことが働き続けながらピアスタッフとして活躍していただけるかといったところを考えながら進めておるところで具体的にはこう進めますというところまで議論が深まってははいない段階でございますが、いただいたご意見を踏まえて今後検討を進めてまいりたいと思います。</p>
宮川委員	<p>もう一つグラフのところアドバイザー事業っていうのがありますけれど、これはどのような内容でしょうか。</p>
事務局	<p>現在各区の協議の場での3機関が中心となりまして、より良い地域作りということで協議をしているところです。話し合いをどう進めていくのか、それをサポートするという意味で、より良い話し合いができるようにすることを目的に、講師となる方を派遣することを次年度やっていきたいと考えております。必ずしもアドバイザーがつかないと話し合いが進まないということではないんですけれども、中には話し合う中でどうやって進めていったらいいのかということ、困惑もあるのかなと思ってアドバイザーを紹介する形で考えております。</p>
佐伯委員	<p>ピアサポーターの話題に関連してなんですけど、千葉県とかだと精神障害者ピアサポート専門員養成研修、座学が30時間、研修が80時間いろいろ書いてあってピアサポーターになれるように養成する研修など、先進的な取り組みをされているんですけど、そういうような他県の取り組みを参考にすることは検討しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>千葉県が進んで取り組まれているということは私どもの耳にも入っておりまして、千葉県だけではなく様々な自治体のいろんないいところを学びながら取り入れさせて進めていきたいと考えております。</p>
宮川委員	<p>度々地域包括の事ですけれど、退院促進地域定着ということに取り組んでいると思うんです。今8050問題というのは高齢者のところに訪問するとひきこもりの人がいるということでその数が随分多くて最近問題になっています。それに関しての支援に関しては、どういう方向なんでしょうか。</p>
事務局	<p>この地域移行地域定着部会が地域作りを目指してということで、精神障害の関係者だけで集って協議するのではなく様々な支援者と繋がることを目指しながら進めていくことで、いろんな方をサポートできるような体制作っていければということで、精神分野だけではなく高齢なりいろんな福祉の関係者と繋がりを作りながら進めていければと考えているところです。</p>
事務局	<p>補足をさせていただきます。8050の関係でいきますと、これまでこども青少年局青少年相談センターが、国の指定する「ひきこもり地域支援センター」としてひきこもりに関する一次的な相談を年齢問わずに行ってきましたが、中高年のひきこもり状態にある方やその家族に対する支援策の充実のため、令和4年から健康福祉局の中にひきこもり支援課というのを設置します。具体的な業務はこれからいろいろ調整かと思えます。やはり精神分野になりますと私どもの業務と関連が深まる場所でもございますのでこちらの新しくできる課と我々といういろいろ調整しながら取り組みを進めていくことになるのかなと考えているところでございます。</p>
宮川委員	<p>そのひきこもり支援課というのは健康福祉局で立ち上げるということでしょうか。</p>
事務局	<p>健康福祉局でやります。</p>
宮川委員	<p>高齢の方と青少年の方と横断的にやる訳ですね。</p>
事務局	<p>青少年関係については引き続きこども青少年局の部署で、ひきこもり支援課は健康福祉局の部署ということになります。このあたりの調整の具体的な話はまだ聞いていないので、これから確認していかなければいけないと思います。</p>
宮川委員	<p>前は青少年の方は年齢制限がありましたけれども今もう全然ないんでしょうか。</p>
事務局	<p>それも含めて今後の確認をして参りますが、そのこども青少年局と健康福祉局で持つひきこもり支</p>

山口会長	<p>援課とでなるべく一体的に運営するようという方向で調整をしているとは聞いておりますので、これからこちらとしても協力してまいりたい。どうか見守っていただければと思います。</p> <p>次に報告事項 3、令和 4 年度予算についてお願いします。</p>
事務局	<p>(3) 令和4年度予算について</p> <p>令和 4 年度予算について説明</p>
山口会長	<p>ただいまの事務局の説明に関しましてご意見ご質問ございますでしょうか。これで本日の報告事項は全て終了いたしました。それではこれをもちまして本日の審議を終了といたします。委員の先生方ありがとうございました。司会を事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>山口会長ありがとうございました。また、委員の皆様には活発なご議論ご質問いただきまして誠にありがとうございました。それでは、会の終了に際しまして、障害福祉保健部長より一言ご挨拶申し上げます。</p>
障害福祉保健 部長	<p>3. 閉会</p> <p>閉会の挨拶</p>
事務局	<p>事務連絡</p>
資料	<p style="text-align: right;">以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 横浜市依存症対策地域支援計画の策定について ・資料 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和3年度の実施状況について ・資料 3 令和4年度予算概要 ・資料 4 横浜市精神保健福祉審議会条例 ・資料 5 横浜市精神保健福祉審議会運営要綱